

製品名: AP2M1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81887**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:300-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	49.7kDa

抗原情報

遺伝子名	AP2M1
別名	mu2; AP50; CLAPM1
遺伝子 ID	1173.0
SwissProt ID	Q96CW1
免疫原	大腸菌で発現したヒト AP2M1 (AA: 298-435) の精製された組み換え断片。

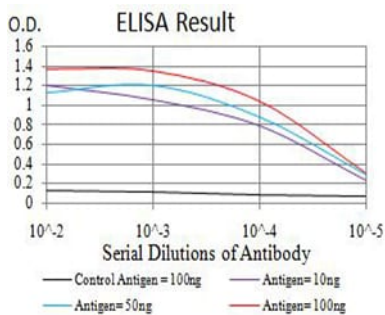
背景

この遺伝子は、アダプター複合体中サブユニットファミリーに属するヘテロ四量体コートアセンブリタンパク質複合体 2 (AP2) のサブユニットをコードしています。コードされているタンパク質は、エンドソームおよびリソソームの酸性化において起こるプロトン

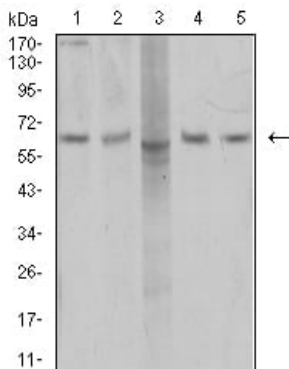
ポンプを担う液胞 ATPase の活性に必須です。また、コードされているタンパク質は、CTLA-4 タンパク質の細胞内輸送と機能の制御においても重要な役割を果たす可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 3 つの転写バリエーションが見つかっています。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



COS7 (1) 、SK-Br-3 (2) 、MCF-7 (3) 、T47D (4) 、および HEK293 (5) 細胞溶解物に対する AP2M1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。